

「さがみはら 見る・知る探検隊」だより

津久井・相模湖周辺 まちなみウォッチング

第5号 平成19年3月

編集・発行 相模原市 建築部 建築総務課
〒229-8611 相模原市中央2-11-15
電話：042-769-8252（直通） F A X：042-751-9674
Eメール：ke-soumu@city.sagamihara.kanagawa.jp

事務局より

今回のまちなみウォッチングは、平成18年3月に合併により新たに市域となった「津久井町」「相模湖町」を対象とさせていただきます。今回参加された全ての方が旧市域にお住まいの方でしたので、普段生活されている場所とは、違った豊富な自然に感動されていました。また、ウォッチングの17日後には、さらに城山町、藤野町との合併を迎えました。面積、人口等益々大きくなり、雄大な自然環境を抱えた「新相模原市」となりました。今後、本市では3～4年間をかけて市民の皆様方と景観計画の策定を行う予定ですので、今後とも、本事業や関連事業への積極的なご支援ご参加をよろしくお願い致します。

津久井地域で開催

平成19年2月に、津久井町、相模湖町を対象にした「まちなみウォッチング」を3回にわたり開催しました。市の広報などのお知らせを見て集まった市民8名の参加を得て行われました。

「まちなみウォッチング」は、本市の景観形成に関する指針を示した「都市景観形成基本計画」における基本目標のひとつ、「市民との協働による景観づくり」を実践していくためのプログラムの第1ステップとして、まちに対する共通認識を育む目的で行われてきました。平成13年度に「橋本駅周辺」、平成14年度に「相模大野駅周辺」、平成15年度に「相模原駅周辺及び矢部駅周辺」、平成16年度に「上溝駅周辺」、平成17年度に「相模川周辺」を対象に行われてきており、今回が6回目となる事業です。

【合併した津久井町、相模湖町をウォッチング】

今年度のまちなみウォッチングは、平成18年3月に合併した津久井町の中野・又野地区と、相模湖町の与瀬・小原地区で開催しました。合併した自然景観豊かな津久井地域のまちがどういう特徴を持っているか？という視点から、「『山と湖の自然風景、拠点の町並み・にぎわい・歴史』を実感してみよう！」をテーマにウォッチングしました。



出典：相模原市・城山町合併協議会、相模原市・藤野町合併協議会発行パンフレット『新しい相模原市を知ろう！』より

まちなみウォッチング開催風景

1日目 まち歩き（津久井町 名手橋～中野の旧道の商店街）

タウンウォッチング - 市役所から津久井町へ移動するバスの中で、自己紹介、ガイダンスを済ませると、ほどなく名手橋に到着。湖畔の冷たい風が吹く名手橋からウォッチングをスタート！ 建築協定の住宅地「メスレーの里」、津久井又野公園、又野の農地を見て歩きました。尾崎弴道記念館で見学・休憩後、梅の咲く住宅地や旧道の堺橋を通り、中野の旧道の商店街へと歩いていきました。商店街では、造り酒屋を見学したり、畳屋さんに質問したり、皆さん熱心にウォッチングしていました。



建築協定というルールで、こういうまちなみができるのか！



中野の旧道の商店街では...



昔の商店街は、どんな様子だったんですか？...親切な畳屋さんが教えてくれました！

時代を感じさせる蔵のまちなみ。手入れは大変なのだろうな。



2日目 まち歩き（相模湖町 駅～湖畔）

タウンウォッチング - 2日目も市役所に集合後、バスで相模湖駅へ。到着した相模湖駅から早速ウォッチング。駅前から湖畔まで、まち中におかれた造形の数々に、活発に意見交換しながらウォッチングしていきました。途中、相模湖総合事務所や県立相模湖公園から湖と対岸の景観を眺め、相模湖大橋、相模ダムへと湖畔を見て歩きました。参加者の皆さんは、相模ダムの歴史や仕組みに関心が高く、湖畔の石碑に刻まれた記録を読んだり、県立相模湖交流センター館内の相模湖記念館を見学したりしました。



まち中のあちこちに造形が。これはなんだ？

県立相模湖公園にて



水源、電力開発の場所として重要な相模湖。どんな歴史があったんだ？



ダムってどういう仕組みなんだ？



3日目 ウォッチングのまとめ

歩いたルートメモ・写真の整理 - 1日目、2日目に歩いたルートをふり振り返りながら、記録したメモや写真を出し合い、発見した魅力や改善ポイントなどについて、意見交換しました。まちのイメージのまとめ - 各地区について、全員で「まちのイメージ」となるキーワードをあげながら、代表的な写真を選びました。



各自が撮った写真にまちの特徴を書いたコメントを添えて整理しました。



建築協定などまちづくりのルールについても関心が高く、熱心に説明に聞き入っていました。

最後に...参加者からの声

「自分の住むまちの歴史を知ろう！」
～自分たちのまちに誇りをもつことから、まちづくりは始まるのでは？～

